重要無形民俗文化財　嵯峨大念佛狂言

二〇二六年秋季定期公演のご案内

10月25日（日）13：30～

■橋弁慶（はしべんけい）

■縛り坊主（しばりぼうず）

■土蜘蛛（つちぐも）

清凉寺（嵯峨釈迦堂）境内狂言堂

雨天決行・荒天中止

全席自由・観覧無料

主催：嵯峨大念佛狂言保存会

協力：京都嵐山ライオンズクラブ

〒616−8447　京都市右京区嵯峨釈迦堂藤ノ木町46

https://www.sagakyogen.info

tel. 080-1414-4864

若葉会自主公演　11：30～

■紅葉狩（もみじがり）

嵯峨大念佛狂言
公式ウェブ・サイト

Photo：田口葉子

国指定重要無形民俗文化財

嵯峨大念佛狂言
秋季定期公演

2026/10/25［日］13:30〜
若葉会自主公演　11:30〜

■嵯峨大念佛狂言について

京都市の西、嵯峨釈迦堂の名で親しまれている古刹清凉寺の境内で執り行われる「嵯峨大念佛狂言」は国の重要無形民俗文化財にも指定されている民俗芸能です。すべての役者が面をつけ、台詞がなく、身振り手振りだけで芝居が進行する点に大きな特徴があります。現在は、二十番の演目が残されています。
その歴史は古く、言い伝えでは鎌倉時代に融通念佛をひろめた円覚上人導御の創始とされています。嵯峨大念佛狂言には室町時代（享禄2年［1529］）の銘を持つ面が伝わっており、すでに500年近い歴史を有していると考えられます。この他にも、桃山時代の優秀な面打師であった喜兵衛の刻銘を持つ女面《深井》や、和宮降嫁の際に宮中の女官としてその説得にあたった高野房子そして幕末の勤王家津崎村岡局の菩提を弔うために奉納された装束など、美術史的にも宗教史的にも価値の高い数々の資料が伝わっています。

■橋弁慶
京の五条大橋で牛若丸が夜な夜な通行人を斬り伏せておりました。その話を聞きつけた弁慶は従者の忠告にもかかわらず、牛若丸をやっつけてやろうと橋へと向かいます。牛若丸と遭遇した弁慶は大立ち回りの末に薙刀も刀も失い、ついに牛若丸の家来となることを誓い、二人でその場を立ち去ります。

登場者：牛若丸、弁慶、従者、通行人

■縛り坊主
とある寺での出来事。大僧は小僧に花見客を庭に入れないようにと命じて僧坊に戻ります。そこにあらわれたのが旦那と供。庭の花を見たいと頼みますが小僧に断られたので、門前で酒盛りを始めてしまいます。酒に吊られた小僧は旦那と供に捉えられ柱に縛り付けられてしまいました。庭に入れればほどいてやるということになったので、三人は中に入り花見の宴が始まります。したたかに酔った小僧を後に、旦那と供は花の枝を折り取って立ち去ります。そこに大僧が戻ってきて、小僧はこっぴどく叱られてその場を逃げ去ります。

登場者：大僧、小僧、旦那、供

■土蜘蛛
頼光は気分が勝れないまま家来たち（綱、保昌）と酒宴を開きますが、その場に倒れ込んで寝てしまいます。家来たちが去った後、土蜘蛛が現れ頼光と戦いますが、その場から逃げ去ります。家来たちが騒ぎを聞いて駆けつけると、頼光は彼らに土蜘蛛退治を命じ、その場から立ち去ります。屋敷をくまなく探るうち、綱が土蜘蛛とでくわし太刀廻りとなりますが、土蜘蛛は逃げ出し綱が追いかけます。保昌が敵を探していると土蜘蛛が現れ戦いとなります。土蜘蛛は逃げようとしますがそこに現れた綱と保昌に挟み撃ちにされ首を取られてしまいました。勝利した綱と保昌は意気揚々と引き揚げます。

登場者：源頼光、渡辺綱、平井保昌、太刀持、土蜘蛛

若葉会自主公演
■紅葉狩
紅葉を愛でに美女（実は鬼女）と侍女が山へやってきます。するとそこへ猿を射ちに平維茂と供があらわれます。美女は維茂を酒盛りに誘い、毒酒を飲ませて維茂を眠らせてしまいます。武器を奪った美女が去ると、地蔵尊があらわれ眠っている維茂に刀を授け、霊力を与えます。維茂は本性をあらわした鬼女と丁々発止の戦いを繰り広げます。その結果はいかに…

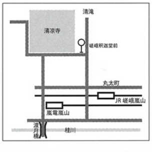
登場者：美女（前シテ）、侍女、平維茂、供、地蔵尊、鬼女（後シテ）
若葉会は2022年に結成された嵯峨狂言クラブのOG・OBによるグループです。

Bhagavan
coffee

庭師がオーナーの清凉寺境内にあるカフェです。Bhagavanとはサンスクリット語で「釈迦」のことで、メニューの多くには嵯峨大念佛狂言の演目名が使われています。さらにオリジナルのガチャガチャや扇子、トートバッグなどのグッズも取り揃えられています。公演前や合間の一服にぜひ足をお運びください。

清凉寺へのアクセス（狂言堂は境内の西北にあります）

■京都市営バス	28系統・91系統	嵯峨釈迦堂前下車	西へ徒歩2分
■京都バス	61・62・71・72・81系統	嵯峨釈迦堂前下車	西へ徒歩2分
■JR	嵯峨野線（山陰線）	嵯峨嵐山駅下車	北西へ徒歩15分
■嵐電	嵐山本線	嵐山駅下車	北へ徒歩15分



観覧無料／雨天決行／荒天中止
お席に限りがございますので、お早めにお越しください。

嵯峨大念佛狂言保存会
お問合せ：080-1414-4864
vtmi19509@leto.eonet.ne.jp
オフィシャルサイト：www.sagakyogen.info